



か

かいたく
開拓の

きねんひのこ
記念碑残す

こまつばら
小松原

こまつばら
小松原の開拓

小松原一帯は、芝原とよばれ村人たちの共有地でしたが、江戸時代の終わりがら明治十年ごろまでの間に開拓され畑として耕作されました。

小松原の地名は、明治八年（一八七五）の地租改正で土地を測量した時に付けられた小字名と思われます。

明治三十八年から小松原へ人々が移り住み、開拓記念碑のたてられた昭和九年は十数戸でしたが、昭和三十年代の終わりごろに自動車工場等ができてからは急激に人口がふえました。

か